

子育て世代への松戸市プロモーション推進業務委託における これまでの取組と今後の方向性について

1 事業名称

子育て世代への松戸市プロモーション推進業務委託

2 事業目的

近年における松戸市の人口動態の特徴として、つくばエクスプレス（以下「T×」という。）の開業により、住宅開発が盛況なT×沿線自治体への転出傾向が顕著となっている。

本事業は、20代から40代の子育て世代をメインターゲットに、松戸市（以下「本市」という。）の魅力・価値を市内外へ効果的に発信し、本市の都市ブランド力の向上を図るとともに本市への興味・関心を引き起こし、将来的な人口流入につなげることで、及び市内の子育て世代に向けて、本市の取組や魅力を知ってもらい、理解を深めてもらうことで、転出を抑制し定住促進につなげることで、また、子どもの学び・体験の機会、新たな自分を発見する機会を創出することで本市への愛着心を育むことにつながることを目的とする。

3 事業の経緯

本市では、「まつどシティプロモーション推進方針¹」に基づき、本事業において、子育て世代の流入及び定住促進を目的としたプロモーションを平成28年度から展開している。本事業の推進に当たっては、これまで本市を知らない『非認知層』への認知拡大の取組を中心に実施し、本市への興味関心から理解促進、そして、本市に住み、本市の取組み等を積極的に市内外へ発信する『まつどファン層』の育成を図ってきたところである。（P2 図1を参照）

平成30年度においては、子育て支援PR動画・第2弾（P5参照）を制作し、近隣市区でのシネアド上映を実施するなど、認知拡大やイメージアップに力を入れた。またそのプロモーション活動の中で、キャッチコピー「やさしい心がそだつ街、まつど。」や、ポスター・パンフレットなどのプロモーションツールを制作した。さらに、ターゲット層に、より本市を体感してもらうため、子育て中の家族が多く集まるイベントへのブース出展などを実施してきたところである。

令和元年度においては、これまで培ってきたプロモーションツールを活用して子育て世代の移住・定住を促進すべく、産婦人科や不動産業者とタイアップしたプロモーションを展開した。

¹ 「まつどシティプロモーション推進方針」は本市ホームページに掲載

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/citypromotion/citypromo1.files/suisinhousin2020-1.pdf>

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、本市への『引越検討層』へのダイレクトなアプローチとして不動産情報誌への広告掲載などを実施している。

令和3年度においては、子育て支援PR動画・第3弾を制作し、市内でのシネアド上映や常磐線各駅停車でのトレインチャンネル配信、インターネット配信を実施し、認知拡大に取り組んだ。また、パンフレットを改訂し(P.6参照)、市内在住の子育て家庭のインタビューやおしゃれなお店紹介等を掲載し、本市の子育て環境がイメージしやすいものとし、市内外の商業施設や住宅展示場、産院、不動産店舗(市内店舗)で配布している。(市内不動産店舗は全店舗に市で配布)

令和4年度においては、「5 今後の方向性」で示すように、子育て支援施設・事業の紹介動画(P.7参照)を制作し、市内住民に向けて本市の取組についての理解促進や利用促進、満足度向上を図る方向へシフトした取組を行っている。

また、コロナ禍で減少した子育て世帯の交流促進や子どもの発表の場を創出する取組として、市内の大型商業施設で集客イベントを開催した。加えて、新たな取組みとして近隣市と比較した本市の優位性を調査・分析し、ビジュアル化したコンテンツを作成し、市ホームページやSNSで活用を進めているところである。

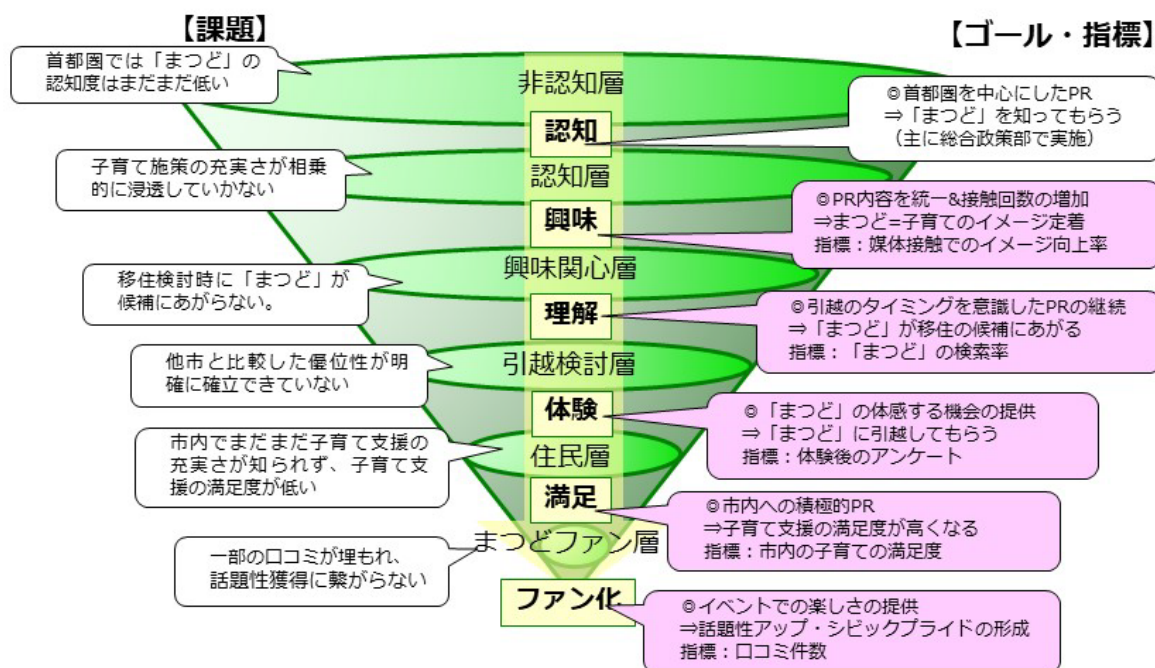


図1 子育て世代と本市との関係性に応じたプロモーション展開のイメージ

4 事業のコアターゲット

子育て世代の中でも、結婚や引越を検討している近隣市に住む子育て世代及び本市の子育て世代をコアターゲットとする。

5 今後の方向性

これまでのプロモーションにおいては、主に認知拡大に力点を置いてきたが、上記の事業目的に記載のとおり、近隣市への転出を抑制し定住促進につなげるために、市内住民に向けて本市の取組についての理解促進や利用促進、満足度向上に力点を置く方向へシフトしていく。

近年、本市では保育施設や子どもの居場所、乳幼児の遊び場などの子育て支援施設を毎年度増設している。また、子育て世帯への経済支援をはじめとした様々な子育て支援事業の新規実施・拡大を図っている。しかしながら、市内ではまだまだ子育て支援の充実さが知られておらず、利用につながっていないため、市民の子育て支援への満足度が上がらないといった課題がある。

今後は、上記図1のトルネードにおいて、住民層へのアプローチに力を入れ、シビックプライドの形成から魅力が広がっていくような取組にも力を入れていく。

6 これまでに制作した子育てプロモーションツール ○キャッチコピー「やさしい心がそだつ街、まつど。」

認知

興味

本市のキャッチコピーである「やさしい心、まつど。」と連動し、子育てプロモーションのキャッチコピーとして「やさしい心がそだつ街、まつど。」を発信している。

本キャッチコピーと、それを活かすリード文と一緒に掲載した子育て支援PRポスター²を制作し、松戸駅東口駐輪場壁面や市内公共施設等へ掲載している。

キャッチコピー及びリード文は、本市が子育て支援を推進していくうえで大事にしている思いであり、本事業の展開でも、基本的な指針と位置付けている。



² ポスター及びそのリード文については、市ホームページに掲載

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/kosodate/matsudodekosodate/kosodatenavi/matsudokosodateshien/kosodatejouhou/matsudo-heart.html>

○モチーフ「まつどハート」

理解



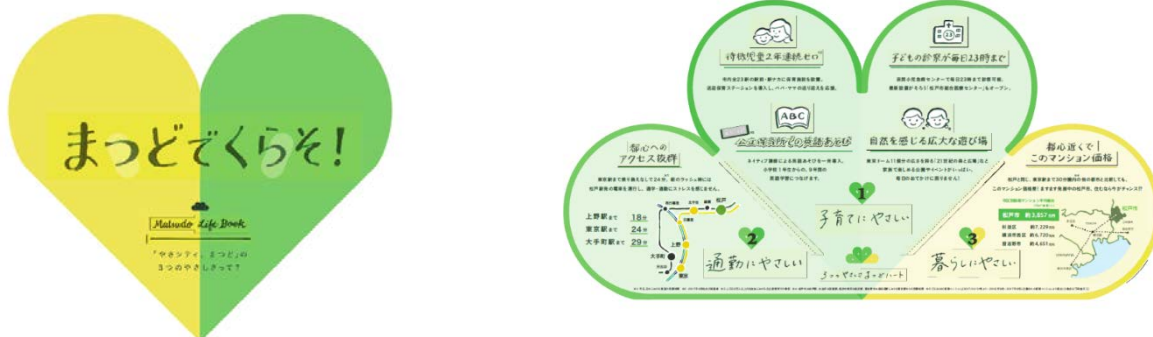
「まつどハート」

「まつどハート」とは、松戸の「松」の紋章と、やさしさの象徴である「ハート」を組み合わせたもので、異なる色の「ハート」を3つ重ねて、「松」の紋章を表現している。

子育てプロモーションのモチーフとして、統一性のあるデザインとして活用していく。

○パンフレット「まつどハートパンフレット³」

理解



「まつどハートパンフレット」は、「まつどハート」のモチーフを活かし、本市が子育て世代へ伝えたい特徴である「子育てにやさしい」「通勤にやさしい」「暮らしにやさしい」の3つを「3つのやさしさ まつどハート」としてまとめたもので、市外の子育て世代へのプロモーションに活用している。閉じた状態では「ハート型」、開いた状態では「松（の紋章）」という特徴的な形状も魅力の一つである。

³ 「まつどハートパンフレット」については、本市ホームページに掲載

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/kosodate/matsudodekosodate/kosodatenavi/matsudokosodateshien/kosodatejouhou/matsudo-heart.html>

○パンフレット 「まつど DE 子育てパンフレット⁴」

理解



「まつど DE 子育てパンフレット」は、本市の子育て支援及び子育て環境の特徴を市内外の子育て世帯へ知ってもらうために制作したものである。6つのポイントに絞って情報を掲載しており、「やさしい心がそだつ街、まつど。」を凝縮した内容となっている。

○子育て支援 PR 動画 第 2 弾「世界一の感謝状」編

認知

興味

ロング版 : https://www.youtube.com/watch?v=Q0lp9h_pLtw

シネアド版 : <https://www.youtube.com/watch?v=l6dxjeExYuw>

本市の魅力である「住む人のやさしさ」「家族の温かさ」を伝える動画で、市内に住む 4 家族が出演し、ドキュメンタリー形式で撮影したものである。

本市が子育て支援を進めるうえで大事にしている「家族の笑顔が、子どもにとって一番の心の栄養である」という思いを込め、本市の魅力である「住む人のやさしさ」「家族の温かさ」を伝えている。

○「まつどハート かんしゃじょう」「まつどハート おめでとうカード」⁵

体験

「まつどハート かんしゃじょう」は、子育て支援 PR 動画 第 2 弾「世界一の感謝状」編で、感謝状を渡すシーンでも使用しており、動画のプロモーションと関連付け、本市から「ありがとう」を伝え合う輪を広げていくためのツールとして活用し

⁴ 「まつど DE 子育てパンフレット」については、本市ホームページに掲載

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/kosodate/matsudodekosodate/kosodatenavi/matsudokosodateshien/kosodatejouhou/chirashi.html>

⁵ 「まつどハート かんしゃじょう」「まつどハート おめでとうカード」については、本市ホームページに掲載

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/kosodate/matsudodekosodate/kosodatenavi/matsudokosodateshien/kosodatejouhou/matsudo-heart.html>

ている。気運の醸成を図るため、市公式ツイッター及びフェイスブックで、母の日などに、「感謝状を書こう！」と呼びかけたり、市内 23 か所



の親子が集う施設で、お誕生会などに絵やメッセージを書いてもらうイベントを実施したりする取組みを進めた。

○子育て支援 PR 動画 第 3 弾「これまでも、これからも、このまちで」

認知

興味

ロング版 : <https://www.youtube.com/watch?v=x5-O6Trf6cw&t=3s>

シネアド 30 秒版 : <https://www.youtube.com/watch?v=gIcyjAXDAT8>

トレインチャンネル 15 秒版 : <https://www.youtube.com/watch?v=7WtTFsOYF3M>

本市の子育て支援施策や小児医療体制など充実した子育て環境の魅力を PR する動画である。主人公の女性が幼少時代を振り返り、生まれ育った松戸でこれから子育てをしていくことへの期待と希望を描いたストーリーで、オリジナル楽曲を使用し MV 風に制作している。

○パンフレット 「こどものいる暮らし⁶」

理解



パンフレット「こどものいる暮らし」は、「まつど DE 子育てパンフレット」を改訂し、本市の子育て支援及び子育て環境の魅力を市内外の子育て世帯へ知ってもらうために制作したものである。

市内在住の子育て家庭のインタビューやおしゃれなお店紹介等を掲載し、本市の子育て環境がイメージしやすいものとした。

⁶ 「こどものいる暮らし」については、本市ホームページに掲載

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/kosodate/matsudodekosodate/pr/kosodatePR.files/kodomonoirukurashi.pdf>

○子育て支援施設・事業の紹介動画

子育て支援施設や事業の内容をわかりやすく伝える取り組みとして作成した動画である。

【子育て支援施設】

- まつドリレポート「保育施設」編 (5分28秒)
- まつドリレポート「医療機関」編 (4分13秒)
- まつドリレポート「おやこ DE 広場・子育て支援センター」編 (3分45秒)



【子育て支援事業】

- 知ってる？かゆいところに手が届く 松戸市の支援施策！ (30秒)
- 知ってる？比べて実感！まつど DE 子育て FACT (30秒)
- 知ってる？松戸市ならではの学びと 成長サポート (30秒)



○子育て環境の強みをビジュアル化した WEB コンテンツ

近隣市と比較した本市の優位性を調査・分析し、保育施設や医療施設、助成・手当などの子育て環境をビジュアル化した WEB コンテンツを作成し、市ホームページ等で発信している。

